

平成 24 年 5 月 14 日

各 位

会 社 名 日本ハム株式会社
代表者名 代表取締役社長 竹 添 昇
(コード：2282、東証・大証第1部)
問合せ先 広報IR部長 中 島 茂
(TEL. 06-6282-3031)

日本ハムグループ 新中期経営計画に関するお知らせ

日本ハムグループは、平成 24 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日（第 68 期～第 70 期）の 3 年
間を、『新中期経営計画パートⅣ』とし、事業計画を策定致しましたので、その概略についてお知
らせ致します。

『新中期経営計画パートⅣ』は、「国内事業の収益拡大と海外事業の基盤強化」をテーマに掲げ、
これまで 9 年間に亘って取り組んできた新中期経営計画をステージアップさせ、弊社グループブ
ランドステートメント「人輝く、食の未来」を実現することで、時代が求める企業への飛躍する
ための 3 年間と位置付けております。

新中期経営計画パートⅣ最終年度において、連結売上高 1 兆 800 億円、連結営業利益 430 億円、
連結税引前利益 380 億円達成に挑戦します。また目標指標に新たに ROE を掲げ、株主価値向上に
も努めてまいります。

記

1. 売上・利益目標（連結）

	H27.3 期（計画）	H24.3 期（実績）
売上高	10,800 億円	10,178 億円
営業利益	430 億円	265 億円
税引前利益	380 億円	268 億円
当期純利益	220 億円	117 億円
営業利益率	4.0%	2.6%
ROE（当期純利益）	7.0%	4.1%

2. 設備投資・減価償却

	3 か年累計
設備投資	1,000 億円
減価償却	700 億円

3. オペレーティングセグメント

	H27.3期（計画）		H24.3期（実績）	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益
加工事業	3,670億円	140億円	3,422億円	80億円
食肉事業	7,080億円	250億円	6,662億円	162億円
関連企業	1,420億円	40億円	1,352億円	20億円
連結計	10,800億円	430億円	10,178億円	265億円

※連結計は、消去調整後の数値

4. 経営方針・経営戦略

今後、国内市場においては一層の競争激化となる経営環境を踏まえ、当社の強みである「インテグレーションシステム」「商品開発力」「技術力」「営業力」を成長ドライバーとし、国内事業での収益力強化と海外事業拡大の事業基盤整備に注力し、将来の成長に向けての新たなビジネスモデルを確立します。

<経営方針>

品質No.1経営のブラッシュアップ

- 「商品の品質」と「経営品質」の向上
- コンプライアンスとガバナンス継続強化

テーマ「国内事業の収益拡大と海外事業の基盤強化」

経営資源の重点配分

- 事業拡大施策への経営資源の投入
- 事業ポートフォリオの見直しや再構築

グループブランド価値の向上

- 社内外とのコミュニケーション強化
- グループブランドマネジメント推進

<経営戦略>

1. 事業基盤の強化と海外事業の積極展開
2. 人材の獲得と育成
3. 研究開発・品質保証体制の強化
4. グループブランドマネジメントの推進
5. 資本効率の向上と資金効率の最適化

参考 品種別売り上げ計画

	H27.3期（計画）		H24.3期（実績）	
	売上高	構成比	売上高	構成比
ハム・ソーセージ	1,440億円	13.3%	1,373億円	13.5%
加工食品	2,100億円	19.4%	2,032億円	20.0%
食肉	5,870億円	54.4%	5,441億円	53.4%
水産物	860億円	8.0%	828億円	8.1%
乳製品	260億円	2.4%	233億円	2.3%
その他	270億円	2.5%	272億円	2.7%
合計	10,800億円	100.0%	10,178億円	100.0%

※「新中期経営計画パートⅣ」並びにその見直し・修正計画など（以下、「当中期経営計画」）は、現時点で入手可能な情報や、合理的と判断した一定の前提に基づいて策定した計画・目標であり、潜在的なリスクや不確実性などを含んでいることから、その達成や将来の業績を保証するものではありません。また実際の業績等も当中期経営計画とは大きく異なる結果となる可能性がありますので、当中期経営計画のみに依拠して投資判断を下すことはお控え下さい。なお、将来における情報・事象及びそれらに起因する結果にかかわらず、日本ハムグループは当中期経営計画を見直すとは限らず、またその義務を負うものではありません。

以上